

現代代数学と異分野連携研究部門 代数幾何学連続講演会

下記の要領で三井健太郎氏(神戸大学大学院理学研究科)による連続講演会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。¹

日時: 2020年3月5日(木)から3月7日(土)
場所: 東京理科大学 理工学部4号館3階数学科セミナー室²
東武アーバンパーク線(野田線) 運河駅徒歩7分

世話人: 伊藤 浩行(東京理科大学)

講演予定:

3月5日(木) 15:00 - 16:30 第1回目
3月6日(金) 13:00 - 15:30 第2回目、16:00 - 17:30 第3回目
3月7日(土) 13:00 - 15:30 第4回目

3月6日、7日の午前中は議論の時間とします。

講演タイトル: 正標数代数曲面及び特異点に関する最新の話題

内容:

2つの曲線へ有限群が作用しているとき、その対角作用による商特異点の解消について得られた研究成果を解説する。この特異点解消は、標数0の場合は連分数を用いた Hirzebruch-Jung 特異点解消として知られており、正標数の場合に新しい結果を得た。また、後半では特異点を持つ曲面の商が非特異になる現象を論じ、応用として得られた準超楕円曲面の分類について解説する予定である。

¹東京理科大学総合研究院総合研究機構「現代代数学と異分野連携」研究部門主催

²<http://www.ma.noda.tus.ac.jp/index.php?guide%2Fmap>

<http://www.tus.ac.jp/info/access/nodcamp.html>